

第4回在日朝鮮人運動史研究会・日韓合同研究会ご案内

在日朝鮮人運動史の研究は、故朴慶植先生が先鞭をつけられたテーマですが、朴先生の提案を受けて関東と関西で研究会がスタートし、現在も継続的に研究会が開かれています。また日本留学中に朴先生の指導を受けた元韓国人留学生らを中心とした韓国民族問題学会も韓国で研究を続けています。その成果は、日本では、『在日朝鮮人史研究』、韓国では、『韓日民族問題研究』として刊行されています。

2003年に滋賀県で、日韓合同の研究会を開催して以降、2005年には韓国釜山で、2007年には東京で研究会が開かれました。今回、第4回目の合同研究会を下記のとおり開催します。オープンな研究会です。在日朝鮮人史に関心をよせる皆様の参加を歓迎いたします。

(7月25～26日、同会場で、強制動員真相究明ネットワーク主催の「強制動員真相究明全国研究集会 - 「名簿」「供託金」問題と中心として - 」が開かれます。あわせてご参加くだされば幸いです。詳細は、近々に強制動員真相究明ネットワークホームページ <http://www.ksyc.jp/sinsou-net/> に掲載いたします。)

日時：2009年7月24日(金)午後1時30分～25日(土)正午

会場：神戸学生青年センター TEL 078-851-2760

阪急六甲下車徒歩3分、JR六甲道下車徒歩10分

<http://ksyc.jp/map.html>

費用：参加費1000円(資料代込)

懇親会会費5000円(学生、韓国からの参加者は2500円)

宿泊：神戸学生青年センターで宿泊できます。(2900円、相部屋)

プログラム

<7月24日(金)>

13:30～18:30 研究会

報告 日帝強制動員朝鮮人被害者の供託金に対する韓国政府の支援の状況 崔永鎬

報告 占領期における日本政府の在日朝鮮人政策の検討

1948年中盤～1949年初頭の時期を中心に 宮本正明

報告 三井財閥と朝鮮人強制労働 竹内康人

19:00～21:00 交流会

<7月25日(土)>

09:00～11:30 フィールドワーク<神戸港 平和の碑>(電車で移動)

神戸市中央区海岸通3-1-1 KCCビル前(神戸華僑歴史博物館のあるビルです)



主催：在日朝鮮人運動史研究会関西部会(代表・飛田雄一)

在日朝鮮人運動史研究会関東部会(代表：樋口雄一)

韓国民族問題学会(ソウル、代表・金旻榮)

日本側問合せ・申込先：在日朝鮮人運動史研究会関西部会(飛田雄一/ひだ ゆういち)

〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1 神戸学生青年センター内

TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878 e-mail hida@ksyc.jp